

KSKS ちいしばだより 210

ゆうせいしそう たたか
優生思想と闘う・・

かいりじ とみた ただかず
ちいしば会理事 富田 忠一

ねん がつ にち いばらきけん そうごうきょういくかいぎ せきじょう けんきょういくいいん はせがわちえこし にんしん
2015年11月19日、茨城県の総合教育会議の席上で県教育委員である長谷川智恵子氏が「妊娠
しょき 初期にもっと（障害の有無が）わかるようにできないのか。・・」「技術で（障害の有無が）わか
れば一番いい。生まれてきてからじゃ大変」「茨城県では減らしていける方向になったらしい」な
どと発言し、当該の委員の発言についてマスコミから問われた茨城県橋本知事も「問題ない」と回答
した旨の報道がありました。

おり ねん がつ にち いばらきけん しょきがい ひと しょきがい ひと たいとう けんり ゆう
折しも 2015年4月1日、茨城県は「・・障害のある人と障害のない人が対等な権利を有してい
ることを再確認するとともに、障害があることで受ける制約をなくすための合理的な配慮の提供
すべ けんみん もと つう だれ あんしん たの く とも ゆめ しあわ
を全ての県民に求めていくことを通じて、誰もが安心して楽しく暮らすことができ、共に夢や幸せ
ついきゅう しん びょうどう しゃかい じつけん けつい じょうれい せいてい しょきがい
を追求できる真に平等な社会を実現することを決意し、この条例を制定する。」として「障害の
ひと ひと とも あゆ しゃわ く いばらきけん じょうれい せこう はんとしご できごと
ある人もない人も共に歩み幸せに暮らすための茨城県づくり条例」を施行した半年後の出来事で
した。

はづげん しょきがい とうじしゃ かぞく しんしんしゃとう かんけいしゃ きず かな
このような発言が障害をもつ当事者、家族、支援者等の関係者をどれだけ傷つけ、悲しませ、
いか あた そうぞう いいん ちじ にんしき ひく そうぞうりょく けつじょ
怒りを与えることになるであろうかを想像できない委員や知事の「認識の低さ」と「想像力の欠如」
どうぜん ついきゅう はづげん はいけい しゅっせいまえけんしん
は当然、追及されるべきです。しかし、このような発言がまかりとおる背景には、「出生前検診」
ようい う かんきょう ととの しゃかい じょうきょう ねづよ ゆうせいしそう そんざい
が容易に受けられる環境が整いつつある社会の状況や根強い「優生思想」の存在があることを
わす 忘れてはなりません。

しょきがいしゃ ぎゃくさつけいかく たい しょきがいしゃ けんりしんがい つよ いか
ナチスドイツによる「障害者虐殺計画」に対しては、障害者への権利侵害であると強い怒り
ひとうめい ひと たいじ しょきがい うむ せんべつ たい はんだん ちゅうちょ
を表明する人であっても、「胎児を障害の有無で選別すること」に対しては判断を躊躇してしまう
じぶん りがい はっせい ろん す なん
ことがあります。自分との利害が発生しないことについては「あるべき論」でやり過ごせても何
りがい しょ もんだい みづか さべつせい かお のぞ
らかの利害が生じる問題については自らの差別性が顔を覗かせます。

ならけん ことし がつ ならけんしおうがい ひと ひと く しゃかい じょうれい
奈良県でも今年4月から「奈良県障害のある人もない人もともに暮らしやすい社会づくり条例
せこう い わたし こころ おくそこ ねづよ とど ゆうせいしそう
が施行されました。「ともに生きるために」には私たちの心の奥底に根強く留まっている「優生思想」
しんし む あ しょきがい うむ かんけい いのち ひと そんちょう じぶん
と真摯に向かい合い、「障害の有無に関係なくどんな命も等しく尊重する」ことのできる自分づ
くりの意識改革と社会づくりに向けて闘い続けることが求められています。

かんしゃ きも わす
「感謝」の気持ちを忘れずにかいじむちょう わだやすこ
ちいしば会事務長 和田泰子

しゃかいふくしほうじん かい ことし かいめ はる むか かい かつどう
社会福祉法人ちいしば会は今年で16回目の春を迎えることができました。これまでちいしば会が活動を
けいぞく しえん かいこうえんかい ねんにほん きょうだんにしやまときょうかい あい そのようちえん ゆうし えん
継続できたのもご支援してくださったちいしば会後援会のみなさまのおかげだと感謝の気持ちでいっぱいです。

しゃかいふくしほうじん かいこうえんかい ねんにほん きょうだんにしやまときょうかい あい そのようちえん ゆうし えん
社会福祉法人ちいしば会後援会は1986年日本キリスト教団西大和教会、愛の園幼稚園の有志でちいしば園
せつりつ そのかしよう かい そしき しきんあつ ごおお
設立のために「エデンの園(仮称)をつくる会」を組織し資金集めをスタート、その後多くのみなさまからの
さんどう えん ねんがつ ふくしさぎょうじょ えん かいしょ えん さき かい めいしょ へんこう
賛同を得て1989年5月に福祉作業所ちいしば園が開所してから「ちいしば園を支える会」と名称を変更し、
そして2000年に法人化してからは現在の「社会福祉法人ちいしば会後援会」となり今日までちいしば会、ち
いしば園の運営に対して経済面での支援をお願いしてきました。

そのおかげもあり、ちいしば会の運営、ちいしば園の活動は借入金の返済に右往左往することなく社会福祉
ほうじんほんらい じぎょうかつどう せんめんてき ちから そそ こんにち じぎょうけいぞく
法人本来の事業活動に全面的に力を注ぐことができ今まで事業継続することができます。

そして、2015年度決算ではこれまでにご支援いただいた結果として基本金(法人運営の基盤を維持するため
にいただいた寄付金)が137,546,930円となりその内、第1号基本金(施設創設及び増築時の土地、建物の
きほんざいさんとう しゅとく もくでき してい きふきん がく えん だい ごう きほんきん しせつそうせつおよ ぞうちくじ とち たてもの
基本財産等の取得を目的として指定された寄付金の額)が100,786,249円、第2号基本金(基本財産取得に係
かりいれきん じょうかん あ してい きふきん がく えん だい ごう きほんきん きほんざいさんしゅとく かか
る借入金の償還に充てるものとして指定された寄付金の額)が36,760,681円となり、この数字にも表れて
ほんとう おお ささ たん すうじ あらわ
いるように本当に多くのみなさまに支えられていることがわかります。単なる数字ではなく、みなさまの気持
ちの大きさ、深さを感じ、感謝の気持ちを忘れずにこれからも事業継続していきたいと強く思いました。

(※2015年度決算書は次回発行のちいしばだよりで掲載予定です)

しかし、今日の国の情勢、格差社会や少子高齢化社会、子どもの貧困等の問題から多くの人が自分自身の
せいかつ ゆめ きぼう も しゃかい なか かくさしゃかい しょうしこうれいかしゃかい こ ひんこんとう もんだい おお ひと じぶんじしん
生活に夢や希望を持ちにくい社会となる中で、ちいしば会の法人理念には障害をもつ人たちだけでなく誰も
あんしん くとも い しゃかい じつけん しゃかい ふくしげよう てんかい かか ほうじん
が安心して暮らせる「共に生きる社会」を実現するために社会福祉事業を開拓しているにも関わらず、法人の
じぎょうけいぞく こうい あま つづ よ かんが
事業継続のためにいつまでもみなさまのご厚意に甘え続けることが良いことかと考えるようになりました。
さいわ すうねん じぎょうひ かりいれきん へんさい かいけいじょうたい こんご かりいれきんかんさい めど
幸いにもここ数年は事業費から借入金の返済ができる会計状態になり、今後の借入金完済への自途もたつた
ことから後援会費について見直すことにしました。今月号の4ページに今後の後援会のご支援について掲載
していますのでご覧ください。

古館前理事長が2004年8月発行のちいしばだより140号で「ちいしば会、ちいしば園は理想を実現する強
そしき ひつよう か けい こうえんかいひ みなお こんげつごう こんご こうえんかい しえん けいさい
い組織になる必要がある」と書かれていました。その言葉にもあるように、これからもあらゆる差別と向き合
い、差別と闘う集団としてちいしば会、ちいしば園の活動に留まらない取り組みを続けていきたいと思いま
す。

そしてちいしば会に集う職員一人一人が、決算書のすべての数字を理解するのは困難なことかもしれませ
んが、基本金の意味を理解して数字に表れている多くのみなさまの気持ちを感じてほしいと思います。



み 見つけた!! 合理的配慮!!

えんしょくいん あたらし はるみ
ちいしば園職員 新 晴美

今回、“こんなところに合理的配慮があった！”という記事を書かせて頂こうと思い、その目線

を心がけた日々が始まりました。高校3年生の娘にも聞いてみました。

すると、「合理的配慮」という言葉に眉間にシワを寄せ、首を傾げ絶句。

そうです、まず「合理的配慮」という言葉の意味から説明です。

と、すぐに「シャンプーの容器横のギザギザ印の事！？」

と返ってきて驚きました。

以前からありますが、視覚障害の方等がシャンプーとリンスの区別をする為のもの(ユニバーサ

ルデザイン)ですよね。繰り返し「通学で使ってる駅に最近エレベーターができた！それも？」と。

わが娘ながら感心しました。

驚いたのはその翌日もです。「母さん！！わかつてん！」「今まで階段の上と下に“お困りごとがあ

れば使用下さい”って電話が付いててんけど、それ、車椅子の人が使用するって事やってんね！」

と。それは母として、娘の中に障害のある方の身になって考えられる頭を持っていた事の発見と

喜びでした。

五字熟語のような“合理的配慮”という言葉と意味を娘に伝えられ、その娘から友達へと広く伝

わってもらえたと思います。今回の題目、“見つけた！合理的配慮！”ですが、

17歳の娘の中に合理的配慮(を考えられる心)を見つけた！！でした。

—社会福祉法人ちいしば会後援会—
これまでのお礼と今後のご支援について

社会福祉法人ちいしば会後援会は、多くの賛同者のみなさんの協力により1989年の無認可作業所ちいしば園設立から社会福祉法人化後の今日まで、ちいしば園、ちいしば会の運営、施設建設、借入金の償還等主に経済的な支援を続けてきました。

ちいしば会は法人設立に伴う施設建設から17年が経過し、施設整備のための借入金返済も残すところ3年あまりとなり、完済の見込みがたちました。また、後援会からのご寄付により現在のちいしば園ならびに駐車場の底地を三郷町から買い取ることもでき、事業継続に必要な基本財産すべてを自己所有できるまでになりました。みなさまには、永年にわたりちいしば会後援会にご協力を賜わったことを心から感謝申し上げます。

今後、ちいしば会後援会としてはちいしば献金を打ち切り、第3種郵便である「ちいしばだより」の定期購読者としてご協力いただくことをみなさんにお願いします。



2016年4月

社会福祉法人ちいしば会後援会
社会福祉法人ちいしば会

会長	高見	まり子
理事長	大澤	せいいち
理事	富田	ただかず



～ 移転後の『ななつぼし』よりお知らせ ～

4月1日より、新たな場所で相談支援事業をスタートしました。
今までの事務所と違い、なんと！民家を事務所として使用しています。
「ちょっと話をきいてもらいたいなあ…」「こんなとき、どうすればいいのかなあ…」など障害者（児）のみなさんの暮らし全般にかかわる相談をお受けします。また、一軒家で部屋数も多いので、そういった相談に限らずちょっとゆっくりしたいなあ～などという時に、どうぞお気軽に立ち寄り下さい。



西和7町委託障害者相談支援事業所
生活支援センターななつぼし 奥田



ふらっと、気軽に
きてくださいね。
おまちしています！

かいしょくいん ちいしば会職員リレー エッセイ



しごと うえ ほうほう 仕事をする上でのリフレッシュ方法

グループホーム

たかはし さやか
高橋 沙耶加

エッセイのテーマについて書く少し前、ある記事を目にし自分の日々の支援について
かんがえることが多くなりました。

その記事はある海外のテーマパークのキャストとダウン症の女の子の話でした。
パレードを観ようと多くのお客様さんが観覧席で待っている中で、ちょうどパレードが始まる
直前に1人の女の子が通路に飛び出し寝ころんでしまったそうです。そのとき、キャストが3、
4人駆け寄ったため、みんなは止めに行つたのかと一緒に瞬思ったそうです。ところが女の子と同じ
ように寝ころんで何が見える?と。その場はほっこり、女の子はその後笑顔でごく楽しそうだ
ったそうです。

私はキャストのゆとりある行動に考えさせられました。テーマパークならではの方針やキャ
ストの心がけもあるとは思いますが、自分がもしキャストなら同じ様な行動はできなかっただ
ろうなと思いました。と同時に自分はゆとりある支援ができるのか利用者さんにとって居心地
の良い環境作りができているのかと考えました。

日々、支援する上で心にゆとりがないと利用者さんにもイライラや不安を与えててしまうこと
もあるでしょうし、緊急時やイレギュラーな事が起こった時に冷静な判断や行動ができないかもし
れません。そこで自分自身が心にゆとりを保つにはリフレッシュは大切なことだと感じました。

プライベートではライブに行ったり海外旅行に行ったりとリフレッシュはしています。また利用者
さんとも以前から夕食後に軽い運動やダンス、休日に買い物やライブと一緒にでかけたりしてき
ました。一緒にリフレッシュすることにより信頼関係も少しずつ築けてきたように感じています。
これからも利用者さんとのリフレッシュも続けていこうと思いますし、自分なりにリフレッシュし
ゆとりある支援につながるように心がけていきたいと思います。

次は、ちいしば園の辰巳浩規さんにバトンを渡したいと思います。

よろしくお願ひします。

テーマは引き続き「仕事をする上でのリフレッシュ方法」です。



す
~好きなもの、気になるもの、興味のあるもの~



「創作室のテレビとリモコン」

えんげいぶもん さいとうそういちろう
園芸部門 斎藤総一郎さん

ひるやす お昼休み、10ch のヒルナンデスを西村昭彦さんと
ともみ 共に見たいが、木下さんや他のメンバーは2ch の
きのした ほか
とと姉ちゃんを見たいので、その時間帯はチャン
ねえ み じかんたい
ネル あらそ おお そうさくしつ
争いをすることが多く、創作室のテレビと
リモコンが気になっていています。

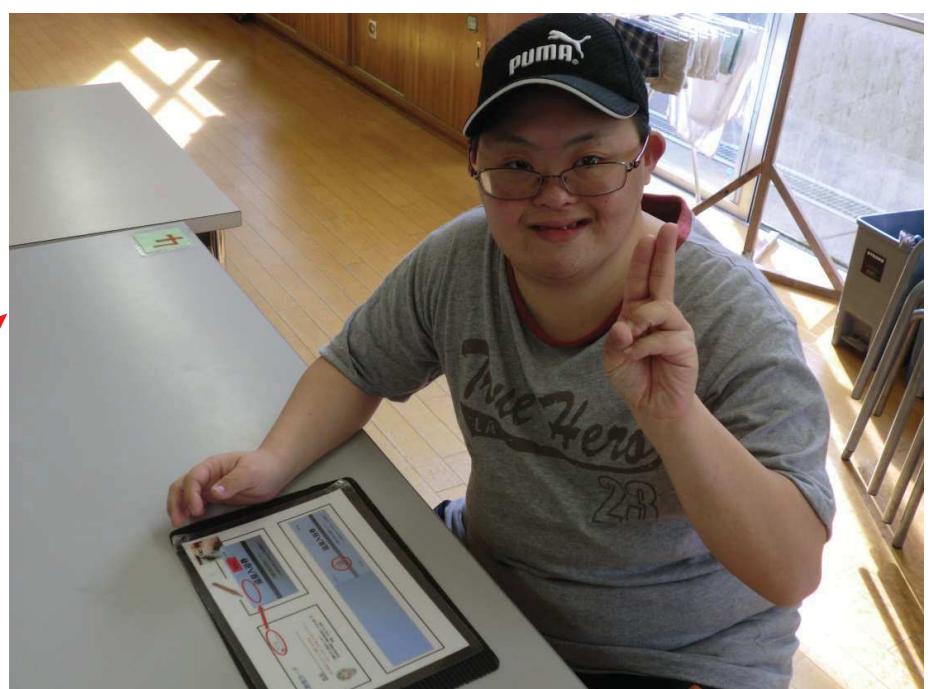
「温泉受付の道具」

けいさぎょういっかいぶもん たつみひろのり
軽作業一階部門 辰巳普宣さん

しゃしん えら りゆう
写真を選んだ理由・・・

おんせん うけつけぎょうむ しごと がんば
温泉の受付業務の仕事を頑張っています！！

ふだん にん くみ やくわり ぶんたん おこな
普段は3人1組で役割を分担して行っています。



「私の喫茶店！」

きっさぶもん ながおよしこ
喫茶部門 長尾良子さん

わたし も とき しそん まいにちさぎょう
私はカメラを持った時に、自然と毎日作業
ばしょ と
している場所を撮っていました。

わたし じまん
きっと私の「自慢」だからです。



社会福祉法人ちいしば会

しろうと演芸会

☆開催のご案内☆

今年もちいしば会は地域の皆様も参加できる
イベントを開催します。みんなで楽しく過ごしましょう！

とき 2016年6月11日(土)

開場 10時30分 開演 11時 終演予定 14時30分

ところ ちいしば園(駐車場あり)

※参加無料

★王寺駅北口噴水前より、ちいしば園までバスを一往復、
運行します。

なお、先着20名様になっています。

★詳細は下記連絡先へ、お問い合わせください。



カレーライス、フランクフルト、
パンなどのちいしば商品を
販売します！！

お問い合わせ先

社会福祉法人ちいしば会 ちいしば園

奈良県生駒郡三郷町勢野北5-6-14

TEL: 0745-72-1923 FAX: 0745-31-5760



一〇〇〇年十二月十二日 第三種郵便物承認

毎月
（一・二・三・四・五・六・七・八の日）発行

☆月々（2016年2月1日～2016年3月31日）

安部ひとみ(2.3)、井戸上聰・徇子(2.3)、植村葉子(12～3)、大西眞規子(2.3)、小澤千恵子(2.3)、
 小野寺彩子(2.3)、岡本啓子(2.3)、木村和子(2.3)、篠原範子(2.3)、ト田啓三・昭子(1.2)、諏訪英子(2.3)、
 高倉常子(3)、高谷三郎(2.3)、田中廣子(2.3)、田中伸一・真紀子(2.3)、筒井早苗(2.3)、
 塚原一典(10～3)、塚本智恵子(11～3)、中園大三郎(3)、中村康子(2.3)、中村由美子(12～3)、
 永井雅子(2.3)、永田清子(2.3)、西浜榎和(2.3)、備後直子(2.3)、福田容子(12～3)、
 藤澤信弘・ゆき子(1～3)、藤澤信也(1～3)、牧村スマ子(2.3)、松藤みどり(2.3)、松村上子(2.3)、
 本岡信光・真(2.3)、森山幸子(2.3)、山内敦子(3)、保井裕之(2～4)、吉田幸子(2.3)、樋口さつき(2.3)、
 中村こみ(2.3)、奥田しづる(2.3)、鈴木りこ(2.3)、森田美和(2.3)、田中涼葉(2.3)、
 河内はるのすけ(2.3)、深澤ゆうすけ(2.3)、石川悠(2.3)、吉兼瑛大(2.3)、高田桜(2.3)、
 富田忠一・直美(2.3)、和田泰子(2.3)、米田守(2.3)、橋本勝寿(2.3)、黒川正通(2.3)、木村朋子(2.3)、
 信田裕香(2.3)、森川佳紀(2.3)、新谷貴雄(2.3)、木下好司(2.3)、小川あゆみ(2.3)、阿波宏晃(2.3)、
 原武史(2.3)、斎藤総一郎(2.3)、井原由夏(1～3)、谷野裕悟(2.3)、石原慎也(2.3)、西村周也(2.3)、
 西田久美子(2.3)、藤原小百合(2.3)、梶原拓馬(2.3)、梅田敬子(2.3)、辰巳普宣(2.3)、梅野玲子(2.3)、
 藤本千絵(2.3)、長尾良子(2.3)、松本敬子(2.3)、小倉奈々(2.3)、坂本友希(2.3)、中森未来(2.3)、
 竹下由里子(2.3)、濱野由利子(2.3)、吉田陽亮(2.3)、吉村公嘉(2.3)、東岡慎也(2.3)、船井裕史(2.3)、
 大谷龍樹(2.3)、岩本咲人(2.3)、村上智子(2.3)、吉井紗英(2.3)、西村昭彦(2.3)、山田援(2.3)、
 柳瀬弘一(2.3)、吉岡佳菜(2.3)、坂口ゆうすけ(2.3)、辰巳真奈美(2.3)、高見良平(2.3)、
 佐野仁美(11.12)

☆一括（2016年2月1日～2016年3月31日）

木瀬桃子、隠岐教会、大阪聖和教会、前田善唯、高の原教会、常盤勇伸、東直輝・千晶、
 フルハウスの会

以上 敬称は略させていただきます

熊本地震による被災障害者支援を目的に「被災地障害者センターくまもと」
 （JDF熊本支援センター）が立ち上りました。
 「被災地障害者センターくまもと」の活動にご協力をお願いします。

【支援金の振込先】

九州労働金庫 熊本支店

名義：被災地障害者センターくまもと

口座：普通 6396779

KS KS ちいしばだより

編集人／ちいしば会後援会

年6回 頒価 50円

連絡先／奈良県生駒郡三郷町勢野北5-6-14

TEL: 0745-72-1923 FAX: 0745-31-5760

発行人／関西障害者定期刊行物協会

大阪市天王寺区真田山町2-2 東興ビル4F